

平成 22 年度 事業報告書

1. 学術集会の開催

種 別	会期・開催場所	会 長
第 46 回総会 参加 2,442 名	平成 22 年 5 月 27 日(木)～ 5 月 28 日(金) 山形県：ホテルメトロポリタン山形他	河田 純男 山形大学医学部 消化器病態制御内科
第 14 回大会 (JDDW2010) 参加 19,884 名	平成 22 年 10 月 13 日(水)～10 月 14 日(木) 神奈川県：パシフィコ横浜	中沼 安二 金沢大学大学院医学系研究科 形態機能病理学
第 38 回東部会 参加 1,463 名	平成 22 年 12 月 2 日(木)～ 12 月 3 日(金) 東京都：京王プラザホテル	森安 史典 東京医科大学 消化器内科

2. 国際学術集会の開催

種 別	会期・開催場所・テーマ	組織委員長
第 9 回 Single Topic Conference 参加 224 名	平成 22 年 11 月 18 日(木)～19 日(金) 東京都：グランドプリンスホテル高輪	渡辺 純夫 順天堂大学医学部 消化器内科

3. 教育講演会

前期教育講演会 参加 388 名	平成 22 年 5 月 28 日(金) 山形テルサ	河田 純男 山形大学
後期教育講演会 参加 660 名	平成 22 年 12 月 2 日 (木) 京王プラザホテル	森安 史典 東京医科大学

4. 会議の開催

(1) 理事会

第 1 回定例理事会	平成 22 年 5 月 26 日(水)	山形
第 1 回臨時理事会	平成 22 年 5 月 28 日(金)	山形
演題選定委員選出開票	平成 22 年 6 月 22 日(火)	東京
第 2 回臨時理事会	平成 22 年 6 月 25 日(金)	東京
評議員選考委員会委員開票	平成 22 年 7 月 12 日(月)	東京
第 2 回定例理事会	平成 22 年 10 月 12 日(火)	横浜
第 3 回臨時理事会	平成 22 年 11 月 5 日(金)	持回り審議
第 4 回臨時理事会	平成 23 年 3 月 29 日(金)	持回り審議

(2) 評議員会

平成 22 年 5 月 27 日(木) 山形

(3) 通常総会

平成 22 年 5 月 28 日(金) 山形

(4) 在り方検討委員会

(5) 財務委員会

第 1 回財務委員会 平成 22 年 5 月 11 日(火) 東京

第 2 回財務委員会 平成 23 年 2 月 22 日(火) 東京

(6) 欧文誌編集委員会	平成 22 年 10 月 13 日(水)	横浜
(7) 和文誌編集委員会	平成 22 年 12 月 21 日(火)	東京
(8) 肝臓専門医制度審議会	平成 22 年 1 月 20 日(木)	東京
(9) 肝臓専門医試験委員会		
第 1 回肝臓専門医試験委員会	平成 22 年 7 月 29 日(木)	東京
第 2 回肝臓専門医試験委員会	平成 22 年 8 月 20 日(金)	東京
第 3 回肝臓専門医試験委員会	平成 22 年 9 月 21 日(火)	東京
第 4 回肝臓専門医試験委員会	平成 22 年 11 月 13 日(土)	東京
(10) 学術集会審議委員会	平成 22 年 9 月 22 日(水)	東京
(11) 国際委員会	平成 22 年 9 月 22 日(水)	東京
(12) 演題選定委員会		
旧 第 2 回演題選定委 (14 回大会)	平成 22 年 5 月 7 日(金)	金沢
第 1 回演題選定委員会	平成 22 年 7 月 6 日(火)	東京
第 2 回演題選定委員会 (47 総会)	平成 23 年 2 月 8 日(火)	東京
第 38 回東部会演題選定委員会	平成 22 年 9 月 21 日(火)	東京
(13) 学会賞選考委員会		
旧 学会賞選考委員会	平成 22 年 4 月 9 日(金)	東京
第 1 回学会賞選考委員会	平成 22 年 8 月 25 日(水)	東京
第 2 回学会賞選考委員会	平成 22 年 12 月 13 日(月)	持回り審議
(14) 生涯教育委員会		
第 1 回生涯教育委員会	平成 22 年 8 月 26 日(木)	東京
第 2 回生涯教育委員会	平成 22 年 10 月 29 日(金)	持回り審議
第 3 回生涯教育委員会	平成 22 年 11 月 15 日(月)	持回り審議
(15) 企画広報委員会		
第 1 回企画広報委員会	平成 22 年 9 月 29 日(水)	東京
第 47 回総会会長インタビュー	平成 22 年 10 月 14 日(木)	横浜
肝臓専門医テキスト編集委員会	平成 23 年 2 月 10 日(木)	東京
(16) 市民公開講座企画検討委員会	平成 22 年 9 月 3 日(金)	東京
(17) 倫理委員会		
第 1 回倫理委員会	平成 22 年 5 月 10 日(月)	持回り審議
第 2 回倫理委員会	平成 22 年 8 月 30 日(月)	東京
第 3 回倫理委員会	平成 23 年 1 月 26 日(水)	東京
(18) 社会保険委員会	平成 22 年 8 月 16 日(月)	東京
(19) 肝移植委員会		
第 1 回(脳死肝移植適応評価委合同会議)	平成 22 年 12 月 3 日(金)	東京
(脳死肝移植施設認定作業部会)	平成 22 年 6 月 17 日(木)	東京)
(脳死肝移植適応評価委員会)	平成 22 年 6 月 30 日(水)	広島)
(脳死肝移植適応評価委員会)	平成 22 年 10 月 22 日(金)	京都)
(20) 治験支援委員会		

(21) 男女共同参画委員会

(22) 支部会関係

西部会世話人会	平成 22 年 10 月 13 日(水)	横浜
西部会評議員会	平成 22 年 10 月 13 日(水)	横浜
東部会世話人会	平成 22 年 12 月 1 日(水)	東京
東部会評議員会	平成 22 年 12 月 2 日(木)	東京

5. 機関誌の発行

(1) 和文誌『肝臓』 51 巻 4 号から 52 巻 3 号までの 12 号及び第 46 回総会、第 14 回大会、第 38 回東部会の抄録を刊行した。

(2) 欧文誌『Hepatology Research』 Vol 40, No4~12、Vol 41, No 1~3 の 12 号を刊行した。

6. 市民公開講座の開催

(1) 一般社会人の肝臓病に関する啓発のため、市民公開講座を全国 5 ヶ所で開催した。

関東地区 日 時：平成 22 年 9 月 18 日(土)14:00~16:30 参加者 250 名

会 場：東京都 東京大学安田講堂

責任者：小池 和彦（東京大学大学院医学系研究科消化器内科）

近畿地区 日 時：平成 23 年 1 月 15 日(土)14:00~16:00 参加者 500 名

会 場：神戸市 神戸新聞 松方ホール

責任者：西口 修平（兵庫医科大学内科学・肝胆膵科）

中国地区 日 時：平成 22 年 7 月 3 日(土)13:30~16:00 参加者 500 名

会 場：広島市 中国新聞ホール

責任者：大段 秀樹（広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学）

四国地区 日 時：平成 22 年 11 月 28 日(日)14:00~16:00 参加者 220 名

会 場：松山市 総合コミュニティセンター

責任者：道堯浩二郎（愛媛県立中央病院）

九州地区 日 時：平成 22 年 11 月 20 日(土)15:00~17:00 参加者 90 名

会 場：宮崎市 宮崎市民プラザ

責任者：永田 賢治（宮崎大学医学部附属病院第二内科）

(2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座を共催した。

日 時：平成 22 年 10 月 2 日（土）13：30～16：30

会 場：ホテル青森（青森市堤町 1-1-23）

責任者：鈴木 一幸（岩手医科大学消化器・肝臓内科）

(3) 同財団主催のパネルディスカッションを共催した。

テーマ：肝炎、肝がんから身を守る

日 時：平成 22 年 5 月 22 日（土）13：00～16：30

会 場：サンエールかごしま（鹿児島市荒田 1-4-1）

7. 肝がん撲滅運動

平成 11 年度から実施している「肝がん撲滅運動」を肝臓週間、平成 22 年 5 月 17 日（月）～平成 22 年 5 月 23 日（日）を中心に各都道府県責任者のもとにおいて継続して実施した。

8. 研究助成

(1) 平成 22 年度 織田賞（学会賞）は、学会賞選考委員会において日本赤十字社医療センターの 幕内 雅敏氏が選考され、第 46 回総会において表彰し、受賞講演を行った。

(2) 学会賞選考委員会で選考された 8 名に対して、平成 22 年度研究奨励賞を授与するとともに、奨励金(1 件 50 万円)を交付した。

姉崎有美子（秋田大学医学部附属病院第一内科）

河岡 友和（広島大学病院消化器・代謝科）

木村 公則（がん感染症センター・都立駒込病院肝臓内科）

日下部篤宣（名古屋市立大学消化器・代謝内科学）

小松 陽樹（済生会横浜東部病院小児科）

土屋 淳紀（新潟大学医歯学総合病院消化器内科）

日高 匡章（長崎大学医学部移植・消化器外科）

宮明 寿光（長崎大学医学部附属病院消化器内科）

(3) 日本肝臓学会機関誌 High Citation 賞を選び、次の筆頭著者に奨励金(1 件 10 万円)を交付した。

○ 肝臓 2 篇

阿部 敏紀（一心病院）、工藤 正俊（近畿大学）

○ Hepatology Research Review article 2 篇、

猪飼 伊和夫（日本肝癌研究会:京都医療センター）、小池 和彦（東京大学）

○ Hepatology Research Original article（含 Short Communication）4 篇

田村 彰教（日本大学）、中村 正治（沖縄県衛生環境研究所）

武藤 泰敏（岐阜大学）、永島 美樹（昭和大学横浜市北部病院）

(4) 中堅研究者の研究奨励のための冠 Award については、次のとおり選考され、第 14 回大会時に授賞が行われた。

○ 第 12 回 AJINOMOTO Award 【応募論文 14 編】

最優秀研究賞 上野 義之（東北大学医学系研究科消化器病態学）

優秀研究賞 濱口えりか（金沢大学大学院恒常性制御学）

藤田 浩司（横浜市立大学 消化器内科）

三浦 光一（秋田大学医学系研究科医学専攻腫瘍制御系消化器内科学）

○ 第 9 回 OTSUKA Award 【応募論文 4 編】

優秀研究賞 山下 太郎（金沢大学付属病院 消化器内科）

○ 第 9 回 Schering-Plough Award 【応募論文 臨床 4 編,基礎 3 編】

臨床分野優秀賞 宮城 琢也（大阪大学医学系研究科 消化器内科学）

臨床分野優秀賞 小瀬 嗣子（大阪大学医学系研究科消化器内科学）

基礎分野優秀賞 池田 正徳（岡山大学医歯薬学総合研究科・腫瘍ウイルス学分野）

基礎分野優秀賞 井津井康浩（草加市立病院消化器科）

○ 第 3 回 CHUGAI Award 【応募論文 13 編】

優秀研究賞 大段 秀樹（広島大学医歯薬学総合研究科先進医療開発科学講座外科学）

辰川 英樹（理化学研究所基幹研究所分子リガンド生物研究チーム）

巽 智秀（大阪大学医学系研究科 消化器内科学）

○ 第1回 Bristol-Myers Award【応募論文 7編】

優秀研究賞 近藤 泰輝（東北大学病院 消化器内科）

伊藤 清顕（国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター）

平賀 伸彦（広島大学大学院 分子病態制御内科学）

9. 肝臓専門医制度

(1) 肝臓専門医制度に基づく施設の認定、指導医の委嘱及び肝臓専門医の認定を行った。

平成22年11月13日(土)、専門医制度に基づく肝臓専門医認定試験を実施し、肝臓専門医試験委員会及び肝臓専門医制度審議会において、492名（申請者数499名、欠席7名）の受験者のうち428名を肝臓専門医として新たに認定した。

さらに、平成23年度肝臓専門医の更新（474名）、認定施設（更新20施設、新規22施設）、関連施設（新規11施設）、指導医（更新61名、新規23名）及び指導医責任者（新規20名）の委嘱を行った。

(2) 日本専門医制評価・認定機構に参画する学会として、引き続き専門医の在り方について検討し、カリキュラムの改正作業を進めた。

(3) 厚生労働省の肝炎対策等、肝臓専門医の果たすべき社会的役割を考慮し、肝臓専門医の質的向上を図るため、肝臓専門医を受験しようとする会員、更新を迎える専門医に対し、所定単位50単位の中で教育講演会への参加を必須条件とした。また、総会及び部会に付置してきた教育講演会に加えて単独開催について検討した。

10. 役員改選

平成22年5月27日の評議員会において役員改選を行ない、通常総会で承認を得た。

また、併せて改選された評議員を加え、委員会構成員についても改選した。

理事交代 (旧) 大西 三朗、岡上 武、小俣 政男

(新) 泉 並木、佐々木 裕、佐田 通夫

11. 学術集会の見直し

学術集会審議委員会の下に設置した「国際学術集会あり方検討ワーキンググループ」の答申に基づき、同委員会でSingle Topic Conferenceのあり方について審議し、次のとおり決定し平成23年度の評議員会及び通常総会で会員の承認を得ることとした。

○ 今後、Single Topic Conferenceは、2年に1回(会期2日間程度)単独開催する。

従って、第11回Single Topic Conferenceは、平成25年度に開催する。

○ Single Topic Conferenceのプログラム作成、招待者選考などに関する「国際学術集会特別委員会」については、当面、学術集会審議委員会・国際委員会が担当するが、独立した特別委員会の必要性があれば再度協議する。

12. 国際交流

(1) 国際学術集会の準備等への参加者に対する旅費等の助成を行う。

若手研究者（40歳未満）に対する国際学会参加のための旅費等の一部助成制度では、16名（EASL:2名、AASLD:11名、APASL:3名）に助成金を交付した。

(2) 外国人研修生の学術集会参加のため、旅費等の助成を行う。

第46回総会に参加した2名の外国人研修生に旅費を助成した。

13. その他

(1) 新法人への移行について

平成 20 年 12 月 1 日、新たな公益法人制度が施行され、新法人への移行（移行期間：5 年間）する必要がある、一般社団法人への移行について事務的な検討を進めたが、委員会で審議する段階には至らなかった。

(2) E-news の配信について

E-news は、平成 21 年 2 月から評議員及び部会評議員を対象に配信を開始したが、第 2 回定例理事会で平成 22 年 11 月から E-news を全会員に配信することとした。

Mail address 未登録会員がいるため、平成 23 年 1 月 20 日には 6,141 名(全会員の 55.2%)に配信した。

(3) 特例民法法人の实地検査が行われた。

9 月 8 日、文部科学省による特例民法法人の实地検査の結果、総合評価が C 評価と指摘された。

- 法人業務の運営状況： B 評価
- 事業の内容及び実施状況： A 評価
- 会計処理、収支及び資産の状況： B 評価
- 予算及び決算の状況： C 評価

予算及び決算の状況に関する指摘事項は、公益法人会計基準に基づく表記をしていないとするもので、公認会計士との協議を踏まえて 12 月 15 日に文部科学省に改善状況について回答した。なお、修正した収支計算書等会計報告帳票については、平成 23 年度の通常総会において修正議決を経て、再提出することとなった。

以上